

## <経済>

### フィンテックを活用した即時送金サービスが開始

今回は、銀行取引の利便性向上の象徴とも言える即時送金サービスについてご説明します。

シンガポールでは 7 月 10 日から「ペイナウ (PAYNOW)」という新サービスがスタートしました。このサービスの特徴は、専用アプリあるいは参加銀行の専用サイトで、受取人の携帯電話番号か国民登録番号（又は外国人登録番号）を入力するだけで、手数料なしに 24 時間送金できるという点です。参加銀行は同国内の主要 7 行\*であり、この 7 行で同国内の個人送金額の 90%を占めています。

シンガポールでは他にも「FAST」「GIRO」「MEPS」などの送金サービスがあり、FAST は邦銀メガバンク 3 行も参加していますが、サービス利用時には受取人の銀行名と口座番号が必要でした。また「ペイナウ」の前身となる「E-PAYMENT」では、送金依頼人は取引専用パスワードを受取人に教える必要がありましたが、「ペイナウ」では初期登録で携帯電話番号又は国民登録番号と銀行口座番号とをリンクさせておけば、取引専用パスワードが不要になるなど利便性が向上しています。

こうした複数行が一体となって提供する 24 時間無料送金サービスは、利用者からすれば「無料で便利」です。参加行も送金取引を囲い込める効果があると言えますが、その一方で銀行としては送金手数料徴求という収益機会を失ってでも取り組んでいることから、その覚悟が窺えます。

今回の発表は、シンガポール銀行協会がプレスリリースを出しており、政府もフィンテック産業を自国の政策に掲げていることから官民一体となった取り組みであることが窺え、今後も同様のサービスは普及していくように感じられます。現在、「ペイナウ」等の送金サービスはシンガポールにおける国内送金に限られていますが、最近日本でも報道されているように海外送金においても「より早くより安く」の動きが見られます。

安全性やコストの問題が指摘されることもありますが、お客さまのために利便性向上を追求し続ける流れは変わらないでしょう。

\*主要 7 行とは、DBS Bank Limited、Oversea Chinese Banking Corporation、United Overseas Bank Limited、Citibank、HSBC Holdings、Maybank、Standard Chartered Bank の 7 行を指します。



## < 社会 >

### シンガポールのエアコン事情

日本では梅雨が明け、本格的に夏の暑さが到来しているのではないのでしょうか。

年中常夏のシンガポールでは屋外が暑いのに比べ、建物の中はエアコンが効きすぎており大変寒いというのは有名な話ですが、当店が入居しているオフィスビルでも上着を着た会社員を多く見かけます。空調はビル管理会社が一括管理しているため、設定温度は何度なのか分かりませんが、寒そうな日本人と正反対に現地の人たちはみな薄着で快適そうであり、それに驚く日本からの出張者も少なくありません。

そんな中、最近とある TV コマーシャルが「エアコン設定を 25 度にして電気代を節約しよう」というようなことを謳っていました。日本人からすれば 25 度はむしろ快適性のみを追求した時の温度設定という気がしますが、シンガポールで毎年行われる Earth Hour というイベントを主催する WWF（世界的な環境保全団体の一つ）もエアコン設定 25 度を推奨していました。シンガポールの公共スペースにおけるエアコン設定の基本は 23 度のようなので、現地スタッフの自宅のエアコン設定は 24 度らしいので、それなりに「目標」といえる設定温度のようです。

それにしても、シンガポールのエアコン設定温度がこんなにも低いのには、快適性以外にも理由があるのかもしれませんが。ある記事では「害虫やカビの発生を防ぐため」とありました。たしかにシンガポールは熱帯地域で一年を通して「高温多湿」の気候が続きます。これを聞くとなるほどそうかなと思います。シンガポールと日本の夏の気温や湿度はほぼ同じであり、ある統計ではシンガポールなど熱帯地域の出身者でさえ、日本の夏のほうが過ごしにくいと回答しているくらいです。

程度（温度）の差はあるものの、遅かれ早かれ、シンガポールにもエコアクションの波が押し寄せてくることでしょう。日本は夏真っ盛り。みなさんの快適なエアコン設定は何度でしょうか？



環境保護団体のイベント告知ポスター

## シンガポールの見本市情報

## Marina Bay Sands

名称	期間
Japan Beautiful Life	8月26日～8月27日
コスメティックス、アンチエイジング、食品、健康、ファッション	
Vitafoods Asia 2017	9月5日～9月6日
栄養補助食品、機能的食品、ダイエットサプリメント、化粧品	
Build Eco Xpo Asia	9月12日～9月14日
建築、インテリア	
MCE Asia 2017	9月12日～9月14日
暖房、空調、水処理、再生可能エネルギー	
Franchising & Licensing Asia 2017	10月12日～10月14日
フランチャイズ製品、ライセンスプロパティ	
SIEW 2017	10月23日～10月27日
エネルギー技術・製品、ソリューション	
ITB ASIA 2017	10月25日～10月27日
旅行商品、旅行用品	
Food Japan 2017	10月26日～10月28日
農産品、水産品、加工食品、スナック、アルコール飲料、日本茶、清涼飲料	

## Suntec

名称	期間
TechX 2017	9月6日～9月7日
IoT、AI、3D、サイバーセキュリティ、ブロックチェーン	

## Singapore EXPO

名称	期間
WasteMET Asia Symposium 2017	10月19日～10月20日
食品廃棄物ソリューション、廃棄物管理	
BuildTech Asia 2017	10月24日～10月26日
建築用機械、建築資材、電気、照明、衛生設備	

\*上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご注意ください。

## ★ トピックスレポート（シンガポール人スタッフ便り）★

～今年も GSS の季節がやってきた！～

今回はショッピング好きの方にぴったりの話題です。シンガポールには「Great Singapore Sale」と呼ばれるセール期間があります。現地では一般的に GSS として知られ、観光産業を促進するためにシンガポール小売協会（SRA）が主催しています。セールは 6 月上旬から始まり、通常 8-10 週間ほど続きます。おそらくアジアの国々からの観光客をより多く取り込むために夏休みなどがあるこの時期に開催しているものと思われます。今年の開催期間は 6 月 9 日から 8 月 13 日までで、最大 70% の割引があります。なかには電子クーポンをダウンロードすることで更なる割引を得ることができる携帯アプリもあるそうです。

この GSS、特に公式ロゴなどはないようで、小売業者は各々に顧客の目を引くポスターを作成して店頭に掲示しています。右の写真はブギスというショッピング施設が多いエリアで撮影してきました。ちなみに、「ツーリスト・リファンド・スキーム」といわれる制度に参加している小売業者の店舗で観光客が 100 シンガポールドル以上の購入をすると、購入時に支払われた消費税 7%（GST）の払い戻し請求をすることができます。ツーリスト・リファンド・スキームに参加しているショップは、店頭または店内に「免税」のロゴまたはサインが表示されているそうですので、GSS 期間にシンガポールに旅行に来られる予定がある方は探してみてください。

